

校区	開催日	場所	テーマ	内容
第一中学校区地域教育懇談会	12月3日	第一中学校多目的室	地域教育懇談会小委員会	(1) 第一中学校区地域教育懇談会の関係者(第一中学校、駒場小学校、菅刈小学校の校長先生、副校長先生、各校PTA役員、駒場住区、菅刈住区の役員及び青少年部関係)の顔合わせと今後の活動方針を協議 (2) 令和7年度については「めぐろ子ども会議の見学」「第31回ふれあいコンサートの開催」を活動内容とすることと、令和8年度はより早い時期に小委員会を開催して活動内容を検討することで合意した
	12月19日	第一中学校	いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議	・地域教育懇談会のメンバーが「いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議」にオブザーバーとして参加し、子どもたちのグループ討議の様子を見学した
	2月10日	第一中学校多目的室	ふれあいコンサート実行委員会	・第一中学校区内の学校および音楽団体による「第31回ふれあいコンサート」の実行委員会を実施 ・第一中学校、菅刈小学校、駒場小学校の校長先生、副校長先生、音楽専科の先生に加え、各出演団体の代表者に出席いただいた ・コンサートのテーマを「音楽でつなぐ、地域の絆」とした ・今回から、都立駒場高校の駒場フィルハーモニーオーケストラ部にも出演いただくこととなった
	3月14日	第一中学校体育館	第31回ふれあいコンサート	以下のとおり「第31回ふれあいコンサート」を第一中学校体育館にて開催 ●開場：13:00、開演：13:30、終演：16:00 ●出演者： ・第一中学校 吹奏楽部 ・第一中学校 合唱部 ・菅刈小学校 ミュージッククラブ ・駒場小学校 金管バンドクラブ ・うたおうかい(駒場地域のコーラスグループ) ・都立駒場高校 沖縄太鼓部 ・都立駒場高校 駒場フィルハーモニーオーケストラ部 参加者：出演者 165人 来場者 209人 合計 374人
第十中学校区地域教育懇談会	4月22日～25日 10月28日～31日	東根小学校、八雲小学校、宮前小学校、第十中学校正門ほか	十中地域一斉あいさつ運動	・子どもたち、通行者に「おはよう、おはようございます」と声掛け ・各校のあいさつ箇所に「地域教育懇談会・あいさつ運動実施中」の看板を設置。 ・参加者には、「あいさつ運動」の腕章と参加確認表への記載 ・小中学生・保護者にチラシを事前配布、公営掲示板に標語入りポスター掲示 ・学校周辺に十中美術部作成ポスターのコピーを掲示
		十中校区4校全世帯のほか、住区、児童館などでも配布	地域夏休み行事カレンダーの作成・配布	・夏休み期間中、学校開放や児童館・社会教育館・住区・商店街などの行事に対して、子どもたちの参加を促すために作成 ・家庭の冷蔵庫に貼れるように、分かりやすいカレンダー形式(A4)で作成 ・十中校区4校全世帯のほか、住区、児童館などでも配布
	9月1日～9月17日	東根小学校 八雲小学校 宮前小学校 第十中学校 4校	あいさつ運動標語募集 あいさつ運動ポスター作成	・標語は30文字以内 4校で募集 ・9/26役員会で入選者を選出予定、各校6点(十中7点)、計25点 ・入選者には各校で賞状をもって表彰 ・十中美術部にポスター作成を依頼 ・ポスター制作の十中生徒には感謝状を贈呈 ・ポスター、チラシに入選した標語を掲載しPR
	2月19日	八雲住区ブレイルーム	4校関係団体等地域連絡会 (略「地域連絡会」)	・十中地域一斉あいさつ運動の推進組織 ・活動報告 ・あいさつ運動の報告 － 標語の紹介、ポスター展示(十中美術部作成)、各校活動写真の展示 ・懇親会
	5月7日	十中応接室他	幹事会	・校長、PTA会長、住区青少年部長、青少年委員、主任児童委員による会議
	4月17日、9月26日、 12月18日、3月16日	八雲住区、東根住区	役員会	会長、副会長、庶務書記、青少年委員、主任児童委員による会議

校区	開催日	場所	テーマ	内容
東山中学校区地域教育懇談会	7月23日	東山中学校 図書室	第1回小委員会	1.参加者自己紹介 2.今後の活動について ・小委員会、運営委員会の日程 ・「いじめ問題を考える目黒のこども会議」の参観 ・既在事業への参観 ・コミュニティ・スクールについて 3.地域懇の構成員について
	11月19日	東山中学校 図書室	烏森・東山子育て教育懇談会	「いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議」参観 (1) 情報交換・意見交換、子ども会議参観の感想 (2) コミュニティ・スクール（学校運営協議会）につて (3) 今後の活動について
目黒中央中学校区地域教育懇談会	6月9日～11日	中目黒小学校 上目黒小学校 五本木小学校 油面小学校 鷹番小学校 目黒中央中学校 各校正門・通学路	【前期あいさつ運動】	・校区内の5小学校、中学校の6校学区内で一斉に開催 ・事前に構成メンバーに周知し、各校正門および、通学路、自宅前等にて通学中の児童、生徒へのあいさつ運動 ・活動時間AM7：50～AM8：20の30分間（3日間） ・各校正門前に10名ほどの地域の構成メンバーが集合 ・事前にポスター500枚を各住区掲示板、学校へ掲示 （構成メンバー：各町会、民生児童委員、青少年員、主任児童委員、各校PTA、児童館、学童職員）
	10月15日～17日	中目黒小学校 上目黒小学校 五本木小学校 油面小学校 鷹番小学校 目黒中央中学校 各校正門・通学路	【後期あいさつ運動】	・校区内の5小学校、中学校の6校学区内で一斉に開催 ・事前に構成メンバーに周知し、各校正門および、通学路、自宅前等にて通学中の児童、生徒へのあいさつ運動 ・活動時間AM7：50～AM8：20の30分間（但し、中央中学校はAM8:00～3日間） ・各校正門前に10名ほどの地域の構成メンバーが集合 ・事前にポスター500枚を各住区掲示板、学校へ掲示 （構成メンバー：各町会、民生児童委員、青少年員、主任児童委員、各校PTA、児童館、学童職員）
大鳥中学校区地域教育懇談会	6月19日	大鳥中学校体育館	全体会および第1回大鳥つなフェスタ実行委員会	・ほっと2四住志代表挨拶、自己紹介など ・今年度の活動について ・大鳥つなフェスタ実行委員長について
	7月10日	大鳥中学校図書室	第2回大鳥つなフェスタ実行委員会	・部活発表について（吹奏楽、ダンス、6組など） ・各住区、6組の出し物について ・綱引きの人数確認 ・チラシとDVDの配布について
	8月20日	大鳥中学校図書室	第3回大鳥つなフェスタ実行委員会	・部活発表の確認 ・住区ゲームの確認 ・当日までの準備と当日の動き ・先生指導による6組ダンスの練習
	9月13日	大鳥中学校体育館・校庭・図書室	開校10周年記念 大鳥つなフェスタ	・小学生209名／中学生ボランティア数十名、大人数十名 〈内容〉吹奏楽部、ダンス部、6組の発表／住区と6組によるゲーム／綱引き ・終了後 振り返り ・終了後、反省会
	2月27日	田道住区センター	つなフェス振り返り	・反省点の確認会議
目黒南中学校区地域教育懇談会	12月7日	目黒区立南中学校	いじめの法的解釈と親の役割	テーマ：弁護士を講師としてお招きし弁護士の観点からいじめに関しての子ども、保護者、周囲の子どもの対応方法を学ぶ ・いじめの定義と認識：被害者の主観を尊重し、広範囲にいじめとして捉える ・法的・実務的対応：いじめは直ちに不法行為とは限らないが、損害賠償の対象にはなり得る。また、加害者の人権保護の観点から、被害者への情報開示が困難なケースも多い ・子どもの心理と実態：子どもは被害を隠したり嘘をついたりすることがあり、周囲がそのサインを見逃さないことが重要 ・周囲の役割と教育：いじめの抑止には「傍観者」による適切な介入が不可欠であり、大人が差別意識を持たず、いじめを許さない姿勢を背中ですす必要がある
目黒西中学校区	8月27日	目黒西中 会議室	地域教育懇談会開催の日時とその内容と今後の方	地域教育懇談会構成員で会議を実施。 ・11月26日開催の「いじめを考えるめぐろ子ども会議」終了後、関係者による打合せを実施 ・本会議に参加する地域関係者の範囲（町会役員等の役職）について案を提示し、協議のうえ整理 ・会議内容について、これまでの第八中学校・第十一中学校での取組事例に限定せず、方向性や構成について意見交換を実施 ・今後の会議運営に向け、本会議の代表者を選出
	11/26	目黒西中 各教室	参観 いじめを考えるめぐろ子ども会議	・中学2年生全員および大岡山・緑ヶ丘・中根の3小学校の6年生全員が、各校で事前に発表準備を行ったうえで参加し、8～10人程度の班に分かれて教室ごとに話し合いを実施 ・各班においては中学生が司会進行を担当し、班員全員の意見を踏まえて結論をまとめた。発表内容およびスローガンには子どもらしい視点が反映されており、各校教員による事前の適切な指導が行われていたことが確認できた。
	11/26	目黒西中 体育館	1.どのような地域教育懇談会 2.各校の子どもたちの現状	・学校・家庭・地域間における情報交換の重要性について共有し、本会を有意義に活用していくことを確認 ・子どもは学校・家庭・地域など周囲から様々な影響を受けていることから、三者が相互に補完し合い、見守り育てていく必要性について意見交換を実施 ・西中学校において、上級生が学校全体を意識して行動し、生徒同士が協力して取り組んでいることで良好な成果が出ている事例が紹介された ・本会に関係する4校間の連携状況は良好であることを確認し、学校が子どもたちの活動を家庭および地域へ発信するとともに、地域からの情報提供を受けながら、健全な成長を支える体制づくりを今後も目指していくことを共有 ・コミュニティ・スクールの取組状況や進展について、今後も情報共有が必要であることを確認 ・本会においては、次年度の代表者選出は行わなかった